平成15年3月期

個別財務諸表の概要

平成15年5月20日

上 場 会 社 名

株式会社トミー

上場取引所 東

コード番号 7867 本社所在都道府県

(URL http://www.tomy.com)

東京都

代 役職名 代表取締役社長 氏名 富山 幹太郎

役職名 管理本部長

氏名 田島 省二 TEL (03) -3693-9033

決算取締役会開催日

平成15年 5月 20日

中間配当制度の有無 有

定時株主総会開催日

問合せ先責任者

平成15年 6月 26日

単元株式制度採用の有無 有(1単元100株)

1.15年3月期の業績(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(1)経営成績

(百万円未満の端数切り捨て)

	売 上	高	営 業 利	益	経常利	益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年 3月期	41,988	6.8	1,464	-	1,371	-
14年 3月期	39,311	26.8	1,263	-	644	-

	当 期 純 利	益	1 株 当 た 当期純利	,	潜在株式 後 1 株当 当期純	当たり	株 主 資 本当期純利益率	総 資 本 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%
15年 3月期	3,399	-	1	66.52		-	22.1	3.0	3.3
14年 3月期	861	-		42.17		-	4.4	1.4	1.6

(注) 期中平均株式数

15年3月期

20,415,386株

14年3月期

20,418,735株

会計処理の方法の変更

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2)配当状況

(- / - / - /-						
	1 株当たり年間配当金 📗 🖪			配当金総額	配当性向	株主資本
		中間	期末	(年間)		配当率
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
15年 3月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
14年 3月期	20.00	15.00	5.00	408	-	2.1

(3)財政状態

		総 資 産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
		百万円	百万円	%	円 銭
15	5年 3月期	45,729	15,371	33.6	752.76
14	4年 3月期	45,280	18,915	41.8	926.45

期末発行済株式数 15年3月期

20,419,299株 14年3月期 20,419,299株

期末自己株式数 15年3月期

5,993株 14年3月期

1,903株

2.16年3月期の業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1	株当たり年間	配当金
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	19,400	400	200	0.00		0.00
通期	39,400	900	460		5.00	5.00

(参考) 1株当たり予想当期純利益 22円 53銭

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって 異なる結果となる可能性があります。上記の予想に関連する事項については、添付資料の12頁の「経営成績及び財政 状態 1.経営成績(2)次期の見通し」をご参照下さい。

9. 個別財務諸表等

1.貸借対照表

(単位:百万円未満の端数切り捨て)

	期別	平成	15年3月期		平成	1 4 年 3 月期		増	<u> </u>
		(平成15年	年 3月31日現	.在)	(平成14	(平成14年 3月31日現在)			減
科目		金	額	構成比	金	額	構成比	金	額
(資産の部)				%			%		
.流動資産									
1. 現金及び預金			14,845			10,156			4,688
2. 受取手形			131			150			18
3. 売掛金			6,300			6,262			38
4. 有価証券			3,444			3,322			121
5. たな卸資産			1,777			2,462			684
6. 前渡金			596			482			114
7. 前払費用			397			730			333
8. 繰延税金資産			843			604			239
9. 関係会社短期貸付金			1,626			3,852			2,226
10. 未収入金			595			743			147
11. 為替予約			408			1,373			964
12. その他			210			87			123
13. 貸倒引当金			21			0			20
流動資産合計			31,156	68.1		30,226	66.8		929
.固定資産									
(1).有形固定資産									
1. 建物及び構築物		4,194			4,230				
減価償却累計額		2,765	1,428		2,740	1,490			61
2. 機械装置及び運搬具		222			228				
減価償却累計額		194	27		191	36			8
3. 工具器具備品		11,769			11,445				
減価償却累計額		10,208	1,561		9,941	1,504			56
4. 土地			3,044			3,044			-
5. 建設仮勘定			18			47			29
有形固定資産合計			6,080			6,123			43
(2).無形固定資産			470			200			400
1. ソフトウェア			172			300			128
2. その他 (年代日本) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1			58			59			100
無形固定資産合計 (3).投資その他の資産			231			360			129
(3).投資での他の資産 1.投資有価証券			1,090			2,968			1,878
2. 関係会社株式			2,581			2,491			90
3. 関係会社長期貸付金			2,925			737			2,187
4. 繰延税金資産			1,291			2,069			777
5. その他			629			479			151
6. 貸倒引当金			281			184			97
投資その他の資産合計			8,237			8,562			325
固定資産合計			14,548	31.8		15,046	33.2		497
. 繰延資産			14,040	31.0		10,040	30.2		407
社債発行費			25			7			17
繰延資産合計			25	0.1		7	0.0		17
資産合計			45,729	100.0		45,280	100.0		448
22.4.6.1			.0,.=0			.0,200			

期 另	II 亚片	以 15年3月期		亚丘	以14年3月期		
州 加			/ -\	(平成14年 3月31日現在)			増減
科目	(平成1	5年 3月31日現 額	生) 構成比	(平成1	4年 3月31日現在 額	生) 構成比	金額
(負債の部)	並	台灣	悔风亿	<u>並</u>	台灣	悔戏记 %	立 領
(貝頂の部) .流動負債			76			70	
1. 支払手形		170			1,037		866
2. 買掛金		2,285			2,225		59
3. 短期借入金		4,500			3,600		900
4. 1年以内返済予定長期借入金		181 9,965			650 -		468
5. 1年以内償還予定転換社債 6. 未払金		2,734			- 1,539		9,965 1,194
7. 未払費用		540			541		0
8. 未払法人税等		31			52		21
9. 預り金		31			99		67
10. 繰延ヘッジ利益 11. 新株引受権		361 16			1,315 16		954 0
12. その他		98			76		22
流動負債合計		20,915	45.8		11,154	24.6	9,761
.固定負債							
1. 社債		1,803			603		1,200
2. 転換社債		-			9,965		9,965
3. 長期借入金 4. 再評価に係る繰延税金負債		3,443 17			327 18		3,116
4. 舟計画に係る繰延税並負債 5. 預り保証金		1,605			1,634		0 28
6. 退職給付引当金		808			1,298		490
7. 役員退職慰労引当金		275			274		1
8. 債務保証損失引当金		1,488	20.0		1,088	22.0	400
固定負債合計 負債合計		9,442	20.6 66.4		15,210 26,364	33.6 58.2	5,767 3,993
		50,500					
(資本の部)					2 000	6.6	2 000
.資本金 .資本準備金		-	-		2,989 2,936	6.6 6.5	2,989 2,936
.利益準備金		-	-		747	1.7	747
.再評価差額金		-	-		25	0.1	25
.その他の剰余金							
1 . 任意積立金 (1) 固定資産圧縮積立金	_			283			
(2) 国庫補助金圧縮積立金				0			
(3) 別途積立金	-			12,600	12,883		12,883
2 . 当期未処理損失()		-			571		571
その他の剰余金合計 .その他有価証券評価差額金		-	-		12,311	27.2	-
. その他有価証券評価差額金 . 自己株式		-	-		91 3	0.2	91 3
資本合計			-		18,915	41.8	18,915
(資本の部)							
.資本金		2,989	6.5		-	-	2,989
.資本剰余金							
1. 資本準備金	2,936			-			
資本剰余金合計 .利益剰余金		2,936	6.4		-	-	2,936
1 . 利益準備金	747			-			
2 . 任意積立金	11,580			-			
(1) 固定資産圧縮積立金	280						
(2) 国庫補助金圧縮積立金 (3) 別途積立金	11 300						
(3)	11,300 2,770			_			
利益剰余金合計	2,	9,557	20.9		-	-	9,557
.土地再評価差額金		25	0.1		-	-	25
.その他有価証券評価差額金		130	0.3		-	-	130
.自己株式 資本合計		15,371	0.0 33.6		-	-	15,371
貝本古訂 負債資本合計		45,729	100.0		45,280	100.0	448
	1	.5,.20			13,230		. 10

2.損益計算書

2.損益計算書					(単位:百	万円未満	の端数切捨て)
期別		成15年3月期			成 1 4 年 3 月期		
		平成14年 4月 [·] 平成15年 3月3 [·]			平成13年 4月 平成14年 3月3		増減
科目	金	ール13年 3月3 額	百分比	金	ール14年 3月3 額	百分比	金額
			%			%	
. 売 上 高		44, 000			20.244		
		41,988	100.0		39,311	100.0	2,676
. 売 上 原 価		29,838	71.1		26,321	67.0	3,517
売 上 総 利 益		12,149	28.9		12,990	33.0	840
. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		13,614	32.4		14,253	36.2	639
営業損失()		1,464	3.5		1,263	3.2	201
. 営業外収益		828	2.0		1,403	3.6	575
. 営業外費用		734	1.8		784	2.0	49
経常損失()		1,371	3.3		644	1.6	726
. 特 別 利 益		3	0.0		183	0.5	180
. 特 別 損 失		1,725	4.1		1,430	3.7	295
税 引 前 当 期 純 損 失 ()		3,094	7.4		1,891	4.8	1,202
法人税、住民税及び事業税		0	0.0		102	0.2	102
還 付 法 人 税 等		166	0.4		-	-	166
法人税等調整額		472	1.1		927	2.4	1,400
当期純損失()		3,399	8.1		861	2.2	2,538
前 期 繰 越 利 益		628	1.5		595	1.5	33
中 間 配 当 額		-	-		306	0.8	306
当期未処理損失()		2,770	6.6		571	1.5	2,198
							<u> </u>

3. 損失処理案

(単位:百万円未満の端数切捨て) 期 別 平成15年3月期 平成14年3月期 自 平成14年4月 1日 自 平成13年4月 1日) 増 減 科 至 平成15年3月31日 【至 平成14年3月31日/ 目 当期未処理損失() 2,770 571 2,198 任意積立金取崩額 1. 固定資産圧縮積立金取崩額 2 0 2. 国庫補助金圧縮積立金取崩額 0 0 0 3. 別途積立金取崩額 3,200 3,202 1,300 1,302 1,900 合 計 431 731 299 利益処分額 1. 配当金 102 102 102 2. 任意積立金 (1)固定資産圧縮積立金等調整額 7 7 次期繰越利益 424 628 204

1株当たり配当金

	平成15年3月期			<u> </u>	平成14年3月期		
	年間	中間	期末	年間	中間	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
普通(旧)株式	-	-	-	20 00	15 00	5 00	

注 固定資産圧縮積立金調整額は、税効果会計における税率変更にともなう積増額であり、固定資産圧縮積立金 (7百万円)と国庫補助金圧縮積立金 (0百円)の合計額であります。

4. 重要な会計方針

4 . 重要な会計方針		T
期別	平成15年3月期	平成14年3月期
	「自 平成14年 4月 1日	自 平成13年 4月 1日
項目	し至 平成15年 3月31日丿	し至 平成14年 3月31日丿
1. 有価証券の評価基準及び評	(1)満期保有目的債券	 (1) 満期保有目的債券
而方法	償却原価法(定額法)を採用して	同左
	おります。	
	0,78,9	
	(2)子会社株式及び関連会社株式	(2)子会社株式及び関連会社株式
	移動平均法による原価法を採	同 左
	用しております。	
	(3)その他の有価証券	(3)その他の有価証券
	時価のあるもの	時価のあるもの
	決算日の市場価格等に基づく	
	時価法(評価差額は全部資本直	同 左
	入法により処理し、売却原価は	
	移動平均法により算定)を採用	
	しております。	
	時価のないもの	時価のないもの
	移動平均法による原価法を採	同 左
	用しております。	
	なお、組込デリバティブを区	
	分して測定することが出来ない	
	複合金融商品は、複合金融商品	
	全体を時価評価し、評価差額を	
	当連結会計年度の損益に計上し	
	ております。	
	/4> 	/4\ - *11.18 -*
2. デリバティブ等の評価基準	(1) デリバティブ	(1) デリバティブ
及び評価方法	時価法	同 左
3. たな卸資産の評価基準及び	(1) 製品	(1) 製品
評価方法	総平均法による原価法	同 左
	(2)貯蔵品	(2)貯蔵品
	総平均法による原価法	同左
	で、ころなでのの次(四/女	
4 田中次立るは伊世也の土土	(1) 有形固定資産	 (1)
4. 固定資産の減価償却の方法	• •	│(1)有形固定資産
	定率法(ただし、平成10年4月1	同 左
	日以降に取得した建物(附属設備	
	を除く)については定額法)を採	
	用しております。	
	なお、主な耐用年数は以下のと	
	おりであります。	
	建物 3~65年	
	工具器具備品 2~20年	

期別	平成15年3月期 「自 平成14年 4月 1日〕	平成14年3月期 「自 平成13年 4月 1日)
項目	至 平成15年 3月31日	至 平成14年 3月31日
	(2)無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェア については、社内における利用可 能期間(5年)に基づく定額法を 採用しております。	(2) 無形固定資産 同 左
5. 繰延資産の処理方法	社債発行費 商法の規程に基づき3年間で毎 期均等償却しております。	社債発行費 同 左
6. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への変換基準	外貨建金銭債権債務は、期末日 の直物等為替相場により円貨に換 算し、換算差額は損益として処理 しております。	同 左
7.引当金の計上基準	(1)貸倒引当金 期末現在に有する金銭債権の貸	(1) 貸倒引当金
	知不成在に有する並践債権の負 倒れによる損失に備えるため、一 般債権については貸倒実績率によ り、貸倒懸念債権等特定の債権に ついては、個別に回収可能性を勘 案し回収不能見込額を計上してお ります。	同左
	(2)退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。 なお、会計基準変更時差異(222百万円)については、5年による均等額を費用処理しておりま	(2) 退職給付引当金
	す。 数理計算上の差異はその発生時 の従業員の平均残存勤務期間以内 の一定の年数(5年)による定額 法により、翌事業年度から費用処 理することとしております。	
	(3)役員退職慰労引当金	(3) 役員退職慰労引当金
	役員の退職慰労金の支払いに備 えるため、内規に基づく期末要支 給額を計上しております。	同 左

期別項目	平成15年3月期 〔自 平成14年 4月 1日〕 至 平成15年 3月31日〕	平成14年3月期 (自 平成13年 4月 1日) 至 平成14年 3月31日
	(4)債務保証損失引当金 関係会社への債務保証等に係る損 失に備えるため、被保証者の財政状態等を勘案し、損失負担見込額を計 上しております。	(4)債務保証損失引当金
8.リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引については、通 常の賃貸借取引に係る方法に準じた 会計処理によっております。	同 左
9. ヘッジ会計の方法	(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を適用しております。なお、金利スワップについては特例処理の要件を満たしているため、特例処理を採用しております。	(1) ヘッジ会計の方法 同 左
	(2) ヘッジ手段とヘッジ対象ヘッジ手段先物為替予約、金利スワップ、通貨オプション等ヘッジ対象	(2)ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 先物為替予約、金利オプション 等 (キャップを含む) ヘッジ対象
	外貨建金銭債権債務、固定金利 又は変動金利の借入金等	同左
	(3)ヘッジ方針 為替変動リスク、金利変動リス ク低減のため、対象債務の範囲内 でヘッジを行なっております。	(3)ヘッジ方針 同 左
	(4)ヘッジの有効性評価の方法 ヘッジ手段及びヘッジ対象につ いてヘッジ効果を検証しておりま す。ただし、ヘッジ手段とヘッジ 対象に関する元本・利率・期間等 の重要な条件が同一の場合はヘッ ジ効果が極めて高いことから、 ヘッジの有効性の評価は省略して おります。	(4) ヘッジの有効性評価の方法 同 左
10.その他財務諸表作成の ための基本となる重要な 事項	消費税等の処理方法 税抜方式を採用しております。	消費税等の処理方法 同 左

5.会計処理の変更

平成15年3月期 平成14年3月期 (自 平成14年 4月 1日) (自 平成13年 4月 1日) 至 平成15年 3月31日) 至 平成14年 3月31日

(自己株式及び法定準備金取崩等に関する会計基準) 当会計年度から「自己株式及び法定準備金の取崩 等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)を適 用しております。これによる当会計年度の損益に与 える影響は軽微であります。

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等)

当事業年度から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

なお、これによる影響は軽微であります。

(貸借対照表)

- 1. 前事業年度において独立掲記しておりました 「資本準備金」は、財務諸表等規則の改正によ り当事業年度においては「資本剰余金」の内訳 科目として表示しております。
- 2. 前事業年度において独立掲記しておりました 「利益準備金」は、財務諸表等規則の改正によ り当事業年度においては「利益剰余金」の内訳 科目として表示しております。
- 3. 前事業年度において「その他の剰余金」の内訳 科目として表示しておりました「任意積立金」 は、財務諸表等規則の改正により当事業年度に おいては「利益剰余金」の内訳科目として表示 しております。
- 4. 前事業年度において「その他の剰余金」の内訳 科目として表示しておりました「当期未処分利 益」は、財務諸表等規則の改正により当事業年 度においては「利益剰余金」の内訳科目として 表示しております。

6.追加情報

6. 追加情報	
平成15年3月期 (自 平成14年 4月 1日)	平成14年3月期 (自 平成13年 4月 1日)
↓ 至 平成15年 3月31日 Ј	└ 至 平成14年 3月31日 │
	(自己株式) 前事業年度において資産の部に計上していた「自己株式」(流動資産0百万円)は、財務諸表等規則
	の改正により当事業年度末においては資本の部の末 尾に表示しております。

7 . 注記事項

(貸借対照表関係)

平成15年3月 (平成15年3月31日	- · · -	平成14年3月期 (平成14年3月31日現在)				
1 . 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のと	こおりであります。	1 . 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は次のとおりであります。				
建物	775百万円	建物	778百万円			
土 地	1,489	土 地	1,489			
計	2,265	計	2,267			
 担保付債務は次のとおりであ!	ります。					
短期借入金	2,100百万円	短期借入金	2,205百万円			
一年以内返済予定長期借入金	81	一年以内返済予定長期借入金	650			
長期借入金	1,694	長期借入金	327			
計	3,875	計	3,182			
2. 関係会社項目 区分掲記されたもの以外でも 関係会社に対する主な資産・負 ります。		2. 関係会社項目 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている 関係会社に対する主な資産・負債は次のとおりであ ります。				
受取手形及び売掛金	3,768 百万円	受取手形及び売掛金	2,675 百万円			
未 収 入 金	162	未 収 入 金	189			
支払手形及び買掛金	848	支払手形及び買掛金	1,112			
未 払 金	332	未 払 金	368			
社 債	603	社	603			
3 . 授権株式数及び発行済株式総数 		3. 授権株式数及び発行済株式総数				
授権株式数 普通株式	60,000,000 株	授権株式数 普通株式 60,	000,000 株			
発行済株式総数 普通株式	20,419,299 株	発行済株式総数 普通株式 20,	419,299 株			

平成15年3月期(平成15年3月31日現在)

平成14年3月期(平成14年3月31日現在)

4.保証債務

下記の会社の借入金等に対して保証を行っております。

保 証 先	金額	内容
TOMY UK LTD.	1,333 百万円	借入等 債務
	5,965 千英ポンド	
	1,695 千米ドル	
TOMY FRANCE SARL.	1,736 百万円	借入等 債務
	13,372 千1-日	
TOMY (THAILAND)	16 百万円	借入等 債務
LTD.	6,062 千ቃብ/ - ሣ	
TOMY CORPORATION	60 百万円	借入等 債務
	500 千米ドル	
(株)トミータ゜イレクト	11 百万円	借入等 債務

外貨建保証債務については、決算日の為替相場に よる円換算額を付しております。

5					

4.保証債務

下記の会社の借入金等に対して保証を行っております。

保	証	先	金額	内容
TOMY	UK LTI	٥.	789 百万円	借入 債務
			1,000 千英ポンド 4,500 千米ドル	
TOMY SARI	FRANCE	Ē	291 百万円	借入 債務
071112	•		2,505 千仏フラン	i, i, i, i
TOMY (THA	ILAND)		17 百万円	借入 債務
LTD.	,		5,647 干 ቃイバーツ	以

外貨建保証債務については、決算日の為替相場に よる円換算額を付しております。

5.期末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。

受取手形

11 百万円

6. 当社の保有する自己株式数

普通株式 5,993株

6. 当社の保有する自己株式数

普通株式 1,903株

(損益計算書関係)

(損益計算書関係)						
平成15年3月期		平成14年3月期				
自 平成14年 4月 1日]	│ 自 平成13年 4月 1日 │				
至 平成15年 3月31日 』	J	至 平成14年 3月31日 📗				
1.関係会社との取引に係るものが次のと	おり含まれてお	1.関係会社との取引に係るものが次のとおり含ま	きれてお			
ります。		ります。				
売 上 高 1	5,555 百万円	売 上 高 10,787	百万円			
売上原価、販売費 1	0,298	売上原価、販売費 10,291				
及び一般官埋賃		及び一般官埋賃				
受取配当金	221	受 取 配 当 金 749				
賃貸料収入	220	賃貸料収入 312				
2 . 販売費及び一般管理費の主要な費目及び	び金額は、次の	2. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額に	は、次の			
とおりであります。 		とおりであります。				
 荷 造 運 賃	852 百万円	荷 造 運 賃 964	百万円			
保管料	914	保 管 料 873				
	,327	広 告 費 4,690				
従業員給与手当 2	,998	従業員給与手当 3,003				
研究開発費 1	,550	研 究 開 発 費 1,543				
支 払 手 数 料	533	支 払 手 数 料 588				
3 . 研究開発費の総額		3.研究開発費の総額				
一般管理費及び当期製造費用に含まれ	れる研究開発費	一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究	?開発費			
	1,872 百万円	1,976	百万円			
4 . 営業外収益の主な内訳		4 . 営業外収益の主な内訳				
受 取 配 当 金	238 百万円	受 取 配 当 金 771	百万円			
 賃借料収入	336	賃 借 料 収 入 348				
 受取利息	50	受 取 利 息 80				
5.営業外費用の主な内訳	202	5. 営業外費用の主な内訳	= ==			
元 上 割 引	209 百万円		百万円			
大型 大	119	支 払 利 息 129				
貸与資産経費	138	貸 与 資 産 経 費 149				
社 債 発 行 費 償 却 額	14	社債発行費償却額 106				
投資有価証券売却損	120					
 6. 特別利益の主な内訳		6. 特別利益の主な内訳				
貸倒引当金戻入	2 百万円	固定資産売却益 167	百万円			
	2 [1]		ロ /111			
7.特別損失の主な内訳		7.特別損失の主な内訳				
債務保証損失引当金繰入 	400 百万円		百万円			
投資有価証券評価損	457	投資有価証券評価損 190				
貸倒引当金繰入額	99	日比谷オフィス閉鎖費用 80				
事 業 再 構 築 費 用	685	関係会社出資金評価損 61				
固定資産除却損	69	固定資産除却損 8				
事業再構築費用は、早期退職者にかかる追	艮職給付債務等					
の償却額(263百万円)及び臨時に支払った	割増退職金					
(355百万円)等であります。						

(リース取引関係)

平成15年3月期

自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日

平成14年3月期 自 平成13年 4月 1日] 至 平成14年 3月31日 .

- 1.リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引
- (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及 び期末残高相当額

		取 相	得 価 当			却 累 当 額	末 残 当	高額
工具器	具備品		百万F 14	-	百万	5円 99	百万	円 44
合	計		144	4		99	2	14

- (注)取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定 資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込 み法により算定しております。
- (2) 未経過リース料期末残高相当額

1 年 内 27百万円 1 年 超 16百万円

合 計 44百万円

- (注)未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末 残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いた め、支払利子込み法により算定しております。
- (3) 支払リース料及び減価償却費相当額

支払リース料 45百万円 45百万円

減価償却費相当額

(4) 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法 によっております。

- 1.リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引
- (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及 び期末残高相当額

			取相	得 価 当	額額	減計	価 償額 相	却累当額	期相	末 歿 当	高額
工具	器具	備品		百万円 236			百万円 163			百万	円 72
そ	の	他		62				53			8
合		計		298				217		8	31

同 左

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1 年 内 45百万円 1 年 超 35百万円 合 計 81百万円

> 同 左

(3) 支払リース料及び減価償却費相当額

支払リース料 70百万円 70百万円 減価償却費相当額

(4) 同 左

(有価証券関係)

前事業年度(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)及び当事業年度(自平成14年4月1日 至平成1 5年3月31日)における子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計関係)

繰延税金負債

繰延税金負債合計

固定資産圧縮積立金

繰延税金資産(負債)の純額

再評価に係る繰延税金負債

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

平成14年3月期 平成15年3月期 (平成15年3月31日現在) (平成14年3月31日現在) 繰延税金資産 棚卸資産評価損否認 252 214 関係会社株式評価損否認 490 506 投資有価証券評価損否認 254 98 退職給付引当金損金算入限度超過額 252 426 役員退職慰労引当金 111 115 債務保証損失引当金 602 457 外国税額控除 197 繰越欠損金 1,354 502 その他 474 374 繰延税金資産小計 2,927 3,754 評価性引当金額 1,425 50 繰延税金資産合計 2.329 2.876

194

17

211

2,117

(単位:百万円)

203

18

221

2,655

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率	平成15年3月期 (平成15年3月31日現在)	平成14年3月期 (平成14年3月31日現在)	
(調整)	42.0%	42.0%	
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.2	2.9	
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	0.9	3.0	
税額控除	2.4	12.4	
税率変更による繰延税金修正	3.2	-	
税金資産回収不能引当額増減	50.8	-	
その他	0.0	0.0	
税効果会計適用後の法人税等の負担率	9.9%	54.5%	

3. 地方税法等の一部を改正する法律(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布されたことに伴い、当会計年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算(ただし、平成16年4月1日以降解消が見込まれるものに限る。)に使用した法定実効税率は、前会計年度の42.0%から40.5%に変更されました。その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が99百万円減少し、当会計年度に計上された法人税等調整額が97百万円、その他有価証券評価差額金が1百万円、それぞれ増加しております。

(1株当たり情報)

平成15年3月期 自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日		平成14年3月期 自 平成13年 4月 1日 至 平成14年 3月31日		
1 株当たり純資産額	752.76円	1 株当たり純資産額	926.45円	
1 株当たり当期純利益	166.52円	1 株当たり当期純利益	42.17円	
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(注1)当期の潜在株式調整後1株当たり新株引受権及び転換社債残高を有しておりま当たり純損失が計上されているため、記載しん。	ますが、1株	(注1)1株当たり情報の計算(自己株式数を控除して算出しており (注2)当期の潜在株式調整後 新株引受権及び転換社債残高を有 当たり純損失が計上されているため	ます。 1 株当たり純利益は、 しておりますが、 1 株	

7.役員の異動

(平成15年 6月26日付)

- 代表者の異動
 該当事項はありません。
- 2.その他役員の異動
 - ·新任取締役候補 常務取締役(現 業務改革推進本部長) 三浦 俊樹
 - ・新任監査役候補 常勤監査役(現 顧問) 松葉 光雄
 - ・退任予定取締役 取締役 落合 稔
 - ・退任予定監査役 常勤監査役 松崎 坦